

- 1 堺まつり

((社)堺観光コンベンション協会への補助事業)

【議事内容】

< 所管課からの説明 >

< 主な質疑 >

(司会)

市外の誘客に課題。堺まつり事業の実施は堺観光コンベンション協会が担うべきか。市が実行委員会を設置する余地もあるのではないか。

(河内委員)

来場者アンケートのH21年度分は無いのか。

(所管課)

アンケートはH20年度に1度実施した。本年度も実施する予定。

(司会)

満足度調査は。

(所管課)

満足度に関してはH17年度に調査したのが最後である。68%が満足と回答している。今後も満足度について測っていきたい。

(河内委員)

認知度が低い印象がある。今後の見直し方針について聞きたい。

(所管課)

まつりの参加者に対する説明も必要なので、内容についてはすぐには変更できない。
認知度向上については、誘客促進を図るため、本年度よりTV等の媒体も活用しPRするなど、事前の周知活動を強化していく。

(野村委員)

目標来場者数を50万人とする根拠は。来場者数のカウント方法、経済波及効果と合わせて聞きたい。

(所管課)

目標については前年度実績をもとに設定した。カウント方法はパレードや会場入口などで測定した。波及効果としては、交通機関の利用者増、観光案内所の来場者数増、みやげ品販売増などがあげられる。

(河内委員)

堺観光コンベンション協会のプロパー職員は専門家が。

(所管課)

イベント経験を有している。

(佐藤委員)

H22 年度は市派遣職員人件費が 0 になっているが、これまで従事してきた人員は何をやっていたのか。また、その人員分をどう補うのか。

(所管課)

堺まつりの実施に係る庁内外の連絡調整業務を担ってきた。現在は協会プロパー職員を補充しているが、ノウハウの蓄積に課題があると考えている。

(佐藤委員)

平成 22 年度は協会職員 1.5 名の上積みだけで、それまでの派遣職員 7 名分を補えるのか。

(所管課)

効率化を進めながら、現体制で運営を進めていく。増員については、体制の強化を図っていきたいが、市からの補助金の割合も高いなかで調整が必要となる。

(田邊委員)

P174 で他市の記載がない。神戸ではパレードで 50 万人の来場者あり、堺市の約倍。コスト割合も堺市は高い印象。事業費があって、足りない部分を補助金とすべきではないか。

(野村委員)

再委託費はあるのか。

(所管課)

企画については、プロモーション会社にプロポーザル方式で契約している。そのほかに会場設営などを委託している。

(平川委員)

P173 のコストについて内容の記載がないが。

(所管課)

補助金ベースでの書き方に変更しているためである。

(河内委員)

マンネリ化という意見はあるか。

(所管課)

そういった意見はある。

(河内委員)

これまでの蓄積のある民族芸能など、重みのあるコンテンツを検討してみてもどうか。

(所管課)

直ちには難しいが、来年以降検討していく。

< 評価 >